

お待たせしました！

より使いやすく、新たな機能を搭載して

MTP Managerが Ver.2として登場です。

Ver.2では新たにデバイスリンク機能の進化型として

WPC(WAPL Program Control)を搭載

シーケンサのような「ラダー図」を入力する事でデバイス同士の入出力を関連付けられます。

例えば右記のような複雑な条件で制御できます。

応用自由自在、あなた自身の手でカスタマイズしてください。

FAQコーナー

質問 ラダー図って難しくない？

回答 専用ソフト（添付）でラダー図はワープロ感覚で簡単に作成できます。

質問 WPCを実現するのに何か別のソフトや環境が必要ですか？

回答 特に必要ありません。"MTPManager2" "WPC Editor" のみで一連のプログラムを実行できます。環境は旧MTP Managerの使用環境でOKです。

質問 ソフトウェアの入手は？ 有償ですか？

回答 入手は弊社ホームページからダウンロードできます。ソフトウェアは無償提供です。

質問 WPC のプログラムの理解は難しくはないですか？

回答 専用ソフトには、HTMLヘルプも付属しています。ヘルプでは1つ1つの命令に対して詳しく解説されています。プログラムの基本概念は、スイッチ（接点）のON/OFFなので特別な専門的知識は必要としません。

登場！ WAPL MTPManager2  
 新機能 WPC搭載(デバイスを関連付けて制御する機能)

WPCを利用すれば「シーケンサ」ライクなこんな複雑な組み合わせの制御もできます。

開発手順 簡単4ステップ

仕様を検討  
 (どんなシステムにするか、まずは紙の上  
 に書いて考えてみましょう)

WPC Editor でラダー図作成

WPC Editor でコンパイル  
 (MTP Manager2で実行できるニモニックコードを作成)

MTP Manager2 にプログラムを設定

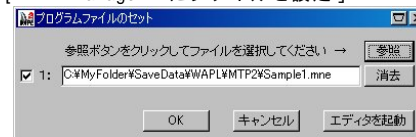
[ ラダー図をコンパイルして  
 実行用コードを作成]

コンパイルによって出力された  
 ニモニックコード(実行用コード)

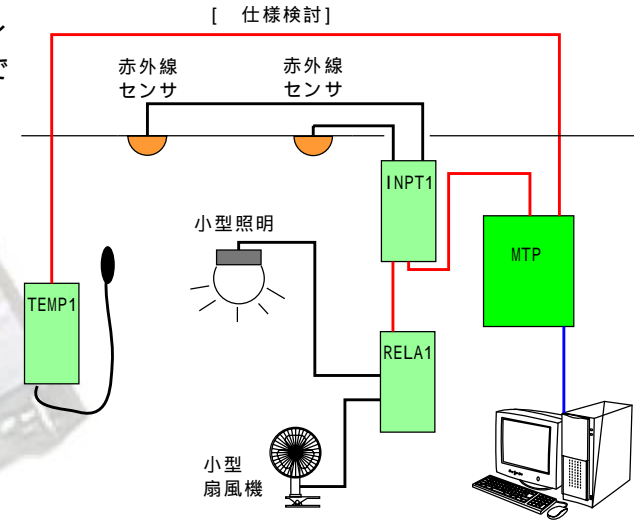
- 1: LD,03,01
- 2: LD,03,02
- 3: ORLD
- 4: PUSH
- 5: OUT,02,01
- 6: POP
- 7: COMP,18,01,28,<,01,01
- 8: LD,18,01
- 9: OUT,02,02
- 10: END

拡張子 .mneファイル  
 として保存されます。

[ MTP Manager2 にファイルを設定]



画像は開発中の物です

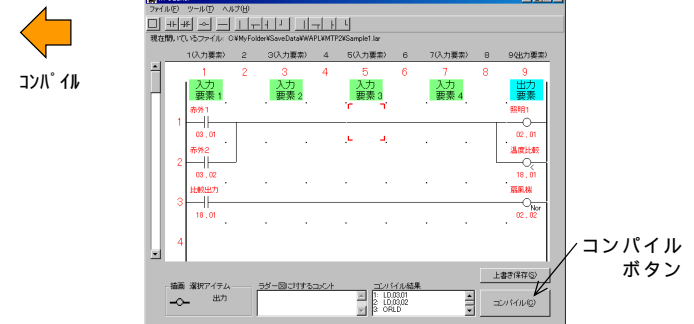


[仕様検討]

条件1: (センサ1) or (センサ2)  
 人体赤外線センサ1,2のどちらかが反応すれば照明がON  
 (室内に人が居れば照明をONにする。)

条件2: {(センサ1) or (センサ2)} AND (温度)  
 センサ1,2のどちらかがONしていて、温度センサが設定温度より大きい時、扇風機がON  
 (室内に人が居て温度が高い時、扇風機をONにする)

[ Editorでラダー図作成]



画像は開発中の物です

最新の情報はホームページで  
<http://wapl.kyohritsu.com>